



# みなみの風

坂下南小学校  
学校だより  
NO. 197  
R7. 12. 19

ドリーム & チャレンジ！ ～あいさつ・はっぴょう・なかまとじぶん～

(文責:校長 菅家 篤)

## 第7回学カトライアスロン

### 33名が鉄人賞に輝く！



17日に、6年生対象の第7回学カトライアスロンを行いました。鉄人賞(3教科満点)には、全体の7割に迫る33名が輝きました。その中で鉄人賞を7回連続で受賞したのは8名です。今後どこまで連続記録を伸ばせるでしょうか。第8回は、来年1月下旬に実施します。

鉄人賞を目指して真剣な表情でテストに取り組む6年生



鉄人賞に輝いた仲間

## 「字のない葉書」 ～年賀状の季節に想う～

最近はメールやSNSの利用が増えたせいか、年賀状の販売数が減ってきているそうです。そう言えば年賀状に限らず手紙を書く機会がめっきり減ったような気がします。

◆ 手紙というと、東京で大学生活を送っていた頃のダンボールのミカン箱を思い出します。一人暮らしのアパートに実家から食べ物などが時々送られてきました。今頃の

季節には切り餅が入っていて、一番下に母の手紙がありました。「体に気をつけて頑張りなさい」。たいていはチラシの裏に走り書き。照れくさくて電話もしませんでした。焼いた餅を食べながら故郷を想いました。

◆ 作家 向田邦子のエッセーに『字のない葉書』があります。戦時中、向田邦子の父は字の書けない幼い妹が疎開するとき、宛名だけを書いたたくさんの葉書を持たせて送り出します。その際、「元気な時は大きい丸を書いて出すように」と伝えました。

丸はやがてバツになり、葉書も来なくなります。病に倒れて帰宅した我が子を抱いて父は号泣します。

◆ 向田邦子は手紙にいい手紙、悪い手紙はない。どんな悪筆悪文の手紙でも書かない時に書かないのは、目に見えない借金をしているのと同じだと言います。



私自身のことを振り返ると、筆不精と言い訳して、何と多くの目に見えない借金をしてきたことか。慌ただしい毎日ではありますが、誰かを思いペンを取り、ほんの一文でもよいから、感謝の気持ちを伝える心のゆとりを持ちたいものだと思います。

☆ 裏面に暗唱チャレンジ「勇気」に合格した子ども達の写真を掲載しております ☆

## 暗唱チャレンジャー「勇気」合格者⑩



「勇気」の暗唱合格者は、  
**206名**となりました。  
南っ子の頑張りに拍手をおくります！

保護者の皆様の応援や励ましに  
感謝いたします。

ありがとうございました！